



リチウムイオン電池 取り扱いについて

2024年9月

日本ヒルティ株式会社



昨今全国的にも増加している発火事故。適切な取り扱いを知り発火事故防止につなげていきましょう

本資料作成の背景

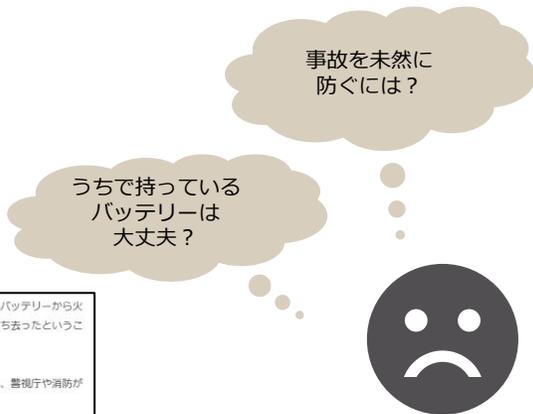
- ！ リチウムイオン電池は高容量化や小型化、利便性向上により多くの製品に利用される一方、全国的にリチウムイオン電池の発火事故は年々増加
- ！ 発火事故防止のためにバッテリーに関する正しい理解を深める必要性あり



6日夕方、東京・豊島区のJR池袋駅に停車していた山手線の車内で、乗客が持っていたリチウムイオン電池から火が出ましたが、まもなく消し止められ、けがをした人はいませんでした。

警視庁の調べにより、乗客の男性のかばんに入っていたモバイルバッテリーから火が出ると、男性は「熱い」などと言いながら床に投げ捨て、そのまま立ち去ったということです。

モバイルバッテリーに搭載されたリチウムイオン電池が燃えたとみられ、警視庁や消防が詳しい状況を調べています。



目的

- ✓ 以下ポイントに関する知識についての理解を深める
 - リチウムイオン電池全般について
 - ヒルティのバッテリーについて
- ✓ 発火を未然に防ぐ方法・発火時の対処法を知る

適切な取り扱いによって発火事故防止につながります



<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240206/k10014349621000.html>

バッテリーパック事故のイメージ映像

動画リンクURL：【nite-ps】バッテリーパック「1.電動工具用非純正バッテリーパックから発火」 - YouTube



リチウムイオン電池の事故要因はさまざまですが、ヒルティでは最新鋭の設計により発火が起こりにくい適切な対策を講じています

事故の要因

【外部衝撃へのリスク】

✓ 強固なハウジング



塵埃、熱、液体



互換性のない
バッテリー



【熱へのリスク】

✓ 温度管理機能

【水没へのリスク】

✓ 耐水・耐湿仕様

安全性と性能を確保するためにいくつかポイントがあります

高温および低温での充電を避ける



異常に熱くなったらバッテリーを工具/充電器から取り外す



完全に充電したらすぐに使用する



互換性が確認された充電器と電動工具を使用する



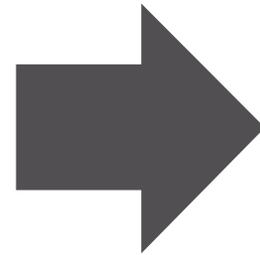
可燃性物の近くで充電を避ける



使用前にバッテリーを点検する



リチウムイオン電池に異変が確認された場合には直ちに使用を中止し、バケツに入れた水に浸けるなどの処置を行ってください



THANK YOU

